

ぐりーんず greens

第27号

2020.9 発行

理念: 地域社会に信頼される病院としての心温まる医療と急性期・高機能・先進医療との調和

基本方針

- ・本学の理念である「至誠と愛」に基づき、皆さまに信頼される病院を目指します。
- ・患者さんのプライバシーを守り、一人ひとりの権利を尊重します。
- ・つねに最先端の医療技術と知識を用いて、安全で良質の医療を提供します。
- ・患者さんに合った最善のチーム医療を行います。
- ・中核病院として地域の診療所・病院等との連携を推進し皆さまの健康を維持・増進します。



病院長ご挨拶



まずは、八千代医療センターの運営について、日頃からひとかたならぬ御支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、令和2年度は、COVID 19という、いままでわれわれが経験したことがない病禍に対応しなければならないことから始まりました。この病禍は、医療だけではなく、経済や精神面でも、さまざまな大打撃を全世界中の人々に与えております。

これによって、社会構造の変化も余儀なくされております。こうした大混乱の中で、東京女子医科大学の事例がマスコミで報道され、皆様方に御心配をおかけいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。

当センターもコロナ対策teamを作り、医療従事者がCOVID 19陽性患者とcrossして院内感染が起らないように厳重な注意を払い、救急医療をはじめとする日常診療に影響がでないように細心の注意を払っております。

八千代市におけるCOVID 19陽性患者数も8月中旬には累積で80人を超え、東葛南部地域においては8月11日から4段階の内のPhase3となりました。これに伴い、当センターもPhase3用の病棟稼動開始めざして準備を整えました。当センターの役割は、bed数の関係から酸素需要などのある中等症～重症の方の受け入れであります。また、軽症の方は保健所からの指示で一定期間の自宅ないしはホテル待機になっております。

様々な点で、従来の医療提供体制と異なったことをspeedyに行わなければならない厳しい状況になっております。皆様方には、この大混乱の中で御迷惑をおかけすると思いますが、この辺の事情を御推察いただき御協力を賜りますようお願い致します。

最後に、皆様方のご健勝を心より祈念いたします。



令和2年9月
病院長 新井田 達雄

副院長ご挨拶



この度、看護部門担当副院長・看護部長代行を拝命いたしました川崎敬子と申します。大変な重責で身の引き締まる思いでございます。皆さまの率直なご意見をうかがいながら、役割を果たせるように誠心誠意努める所存です。

私は、東京生まれ秋田育ちで、就職を機に東京女子医科大学にまいりました。循環器で臨床経験を積み、治験管理室の新設時に、治験コーディネーターとしての活動も行っていました。看護師長になったおりに、当学大学院看護学研究科で看護管理学修士を取得し、2015年より看護副部長として、主に総務、労務・病床管理を担当してまいりました。この4月に、河田町を離れ異動してまいりました。初めての電車通勤で不安もありましたが、今は車窓から荒川や江戸川を眺め、緑の街路樹をくぐり、四季の移ろいを感じながら通勤できることに心から安らぎを覚えております。

八千代医療センターでは、急性期・高機能・先進医療を提供しつつ、これまで培ってこられた八千代市や近隣の方々との連携を継承し、地域完結型の地域医療をさらに推進してまいりたいと思います。入退院支援室に配属した入退院支援ナースと各部署の入退院支援リンクナースを核に、患者の皆さまのニーズを的確に捉え、患者の皆さまが安心して治療に臨み、円滑に自宅に戻れるような看護を全ての医療チームと連携し、展開できるように努めてまいります。

また、今年は、COVID-19が感染拡大により、これまでとは異なる新たな対応も必要となっております。COVID-19 対策チームを中心に検討を重ね、各部署で対応を進めてまいりました。病棟、外来、手術室、検査室等での受け入れ体制の整備、専門・認定看護師を中心とした呼吸管理に関するケアの充実、外来棟入口の集約及び健康確認の徹底、動線の区別、面会の制限、リネンや廃棄物の取り扱い等、全てのスタッフと協働し整備を進めております。入院、外来受診にお越しいただく全ての患者の皆さまが安全に医療を受けられるように状況に応じ体制を整備してまいります。

最後に、一部のマスコミに看護職員に関する内容が報道されました。皆さまには、多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしましたこと、誠に申し訳ございませんでした。事実と異なる内容も多いのですが、これからも、スタッフを大切に育み、ともに研鑽を積み、よりよい看護・医療を提供していけるように努力してまいります。

今後とも、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

副院長 川崎 敬子



歯科口腔外科 科長 片岡 利之



歯科口腔外科診療科長を拝命いたしました、片岡利之です。

私は平成12年に東京歯科大学を卒業後、東京女子医科大学歯科口腔外科学教室で口腔外科全般の診断と治療を中心に、口腔インプラント治療、顎咬合再建治療に修練してきました。平成23年からは東京女子医科大学がんセンター緩和ケア室を兼務し、診療科を超えて多職種でがん診療を行ってきました。

八千代医療センター歯科口腔外科では、顎口腔領域の良性/悪性腫瘍や嚢胞性疾患、粘膜疾患、外傷、感染症に対する外科治療を中心にを行います。高齢者もしくは治療に対する耐容能の少ないと思われる患者さん(併存疾患や内服薬が多い、がん化学療法中など)においては、かかりつけ医と連携し治療を行います。一般歯科治療は八千代市歯科医師会と連携し地域歯科医院と協調して口腔の健康を支えていきます。外傷や急性炎症など緊急性のある場合は予約外でも適宜診察します。全身麻酔手術のほかに、外来通院もしくは短期入院で静脈内鎮静法下での手術が可能です。

私は口腔腫瘍治療における臨床病理学的検討を研究テーマの一つにしてきました。八千代医療センターにおいても歯源性腫瘍や口腔悪性腫瘍の治療を積極的に行い、治療成績の向上と侵襲の少ない治療法の確立に邁進してまいります。近年では顎骨病変の外科的切除症例に対してデジタルデータを利用した顎再建および歯科インプラントを用いた咬合再建治療を行っています。顎顔面外傷後や頭頸部腫瘍の術後などで、咬合不全が残遺している症例がございましたらご相談ください。

近隣医療機関との連携・協力をいただき地域医療にも貢献して口腔の健康増進にも努めてまいります。皆様からの暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成12年 東京歯科大学卒業

平成28年 博士(医学)東京女子医科大学

趣味:仕事,ドライブ,スポーツ観戦

好きな映画:『007カジノ・ロワイヤル』

ダニエル・クレイグが乗るアストンマーチンが上品で美しい

歯科医師臨床研修指導医

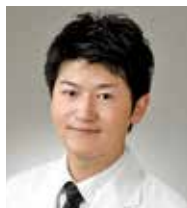
日本口腔外科学会 専門医

日本口腔科学会 指導医, 専門医

日本口腔インプラント学会 専門医

日本有病者歯科医療学会 指導医, 専門医

脳神経外科「脳血管内治療外来」紹介 科長 川島 明次 石黒 太一



八千代医療センター脳神経外科では、2019年4月より「脳血管内治療外来」を毎週金曜午後に開設しております(担当医 石黒 太一)。対象疾患は脳梗塞、頸動脈狭窄症、脳動脈狭窄症、脳動脈瘤、脳動静脈奇形、硬膜動静脈瘻などの脳血管疾患はもちろん、脳腫瘍や難治性の慢性硬膜下血腫に対しても適応となります。脳血管内治療の利点は、一般的に行われる開頭手術に比べ、患者様に加わる侵襲が極端に少ないことです。足の付け根にある大腿動脈から太さ2

～3mmのカテーテルを挿入し、血管の中から病気を治療します。頭を切開する必要がないため傷跡が残らず、髪の毛を剃る必要もありません。また、開頭手術では病変への到達が困難な脳の中心部分でも、周辺の脳への影響を与えずに治療が可能です。さらに、多くの疾患はカテーテルを挿入する部分だけの局所麻酔で治療が可能であり、全身麻酔をかける事が危険な高齢者や、心臓や肺機能の悪い患者様などには有用な方法です。

開頭手術に比べ侵襲が少ない脳血管内治療は非常に大きなメリットです。ただし、治療を安全に行えるかどうかの見極めは非常に重要です。当院では、患者様の健康状態、病変の特徴から、どのような治療が患者様に最適かを一人一人綿密に検討しています。そして、年間300件以上の開頭手術および100件以上の脳血管内治療を、それぞれ専門資格を有した脳神経外科医が行っています。血管内治療を希望される患者様であっても、開頭手術のほうが明らかに治療に適している場合は、そのようにご提案いたします。私達は、後遺症を出さない安全な治療を心がけ、患者様に元気に退院していただくことを一番に考えております。

まずは患者様の病気に対して脳血管内治療が可能かどうか、興味や疑問等ありましたらぜひお気軽に外来受診いただければ幸いです。

お知らせ

ご紹介の際は、紹介状(診療情報提供書)をご用意頂き、事前のご予約をお願い致します。

医療機関からの診察・検査連携のご予約(地域連携直通)

TEL 047-458-6543 FAX 047-458-6545

受付時間 平日 9:00～17:00・土曜日 9:00～13:00

※日曜、祝日、第3土曜日、創立記念日(12/5)、年末年始(12/30～1/4)はお取扱していません。

※時間外の場合はFAXを送信して下さい。翌受付時間内にご連絡させていただきます。

※予約日時・医師等の変更を希望される場合は前日までにご連絡下さい。



医療連携マネージャー(医師)

緊急を要する当日(日中)のご紹介は、紹介診療科が定まっている場合は従来通り当該診療科の医師が対応します。担当診療科の特定がしにくい場合は、「医療連携マネージャー」が電話対応をさせていただきます。ご対応は地域連携直通電話の受付時間内とさせていただきます。

検査連携(医療機関から申込)

検査連携のご依頼は地域連携直通電話の受付時間内とさせていただきます。

応需検査:CT、MRI(単純)、RI、XP、マンモグラフィー、骨密度測定、セファロの画像検査

患者さんからの診察のご予約(予約センター)

TEL 047-458-6600

受付時間 平日 9:00～16:00・土曜日 9:00～12:00

※日曜、祝日、第3土曜日、創立記念日(12/5)、年末年始(12/30～1/4)はお取扱していません。

※予約日時・医師等の変更を希望される場合は前日までにご連絡下さい。

やちよ夜間小児急病センター(中学3年生までの小児対象)

TEL 047-458-6090

受付時間 毎日 18:00～23:00

医療相談は行っておりません。ご予約の必要はありません。受付時間内に直接ご来院下さい。

病院行事 今年度開催中止のご案内

令和2年5月号にて事前案内させていただきました令和3年2月6日開催予定の「東京女子医科大学八千代医療センター地域医療連携フォーラム」および例年、秋・冬に開催しておりました「やちよ健康フェスタ」は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止させて頂くことと致しました。



東京女子医科大学

八千代医療センター

TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY YACHIYO MEDICAL CENTER

〒276-8524 千葉県八千代市大和田新田477-96

TEL 047-450-6000(代表)

FAX 047-458-6545

入退院支援室 TEL 047-458-6543(直通)